

## 平成23年 萩市議会12月定例会

### 一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	20	諸 岡 皓 二	12月5日午前
2	6	岡 通 夫	
3	17	西 島 孝 一	午後
4	7	尾 木 武 夫	
5	16	中 村 洋 一	
6	1	佐々木 武 夫	
7	13	斉 藤 眞 治	12月6日午前
8	4	椋 晶 雄	
9	3	西 中 忍	午後
10	14	柴 田 保 央	
11	9	中 野 伸	
12	12	木 村 靖 枝	
13	24	世 良 眞名夫	12月7日午前
14	11	松 尾 義 人	
15	5	大 村 赳 夫	午後
16	10	広 兼 義 烈	
17	19	宮 内 欣 二	
18	2	関 伸 久	

質問順位	1	質問者	諸岡 皓二 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉行政について	1. 高齢化社会を迎えての今後の対策は (1) 身近な問題としての旧郡部でのごみの収集について (2) 福祉施設は万全か		
2. 福祉・観光行政について	1. 陶芸の村公園に設置予定のグラウンド・ゴルフ場について		
3. まちづくり行政について	1. 「まちじゅう博物館」構想によるまちづくりについて 2. 経済効果の見通しは 3. 「空き家」対策について		

質問順位	2	質問者	岡 通 夫 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．魅力ある一次産業の構築について	1．若い人たちが就業し得る営農組織を 2．森林資源を活かした三位一体の新しい産業の創出について		

質問順位	3	質問者	西島孝一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 自然環境の保護対策について	1. 市内西の玄関口である景勝地「平安古の松原」の保全について（松くい虫対策）		
2. 観光資源の活用について	1. 八江萩名所図画から選んだ萩八景図巻を活用した観光施策について		
3. 社会体育の支援について	1. 明倫小学校が旧萩商業へ移転後の施設活用について		

質問順位	4	質問者	尾木武夫議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．中山間地域でも安心して定住できる条件整備を	1．農道ではあるが生活道として利用している道路の補修について 2．携帯電話の不感地帯の解消について		
2．河川の草刈り、浚渫、また崩壊間近と思える護岸の整備			
3．TPPの加入反対について			

質問順位	5	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農業問題について	1. 農業の振興策について 2. 企業の農業参入に積極的な対応を 3. 市民農園の拡大拡充について		
2. 選挙事務の改善について	1. 期日前投票の簡素化について		

質問順位	6	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉施設の充実を	1. 高齢者、障がい者、子供と一緒に利用でき、通い、訪問、泊まりなどのサービスを受ける地域密着の「共生型多機能ホーム」の導入を		
2. 萩市の低炭素化社会に向けての取り組みについて	1. 地域の防災拠点になる学校に太陽光発電の設置を 2. 「ふるさと寄附条例」等を活用し、資金ができれば公共の施設や生命にかかわる被害、災害防止のための再生可能エネルギーを利用した施設の設置を		

質問順位	7	質問者	斉藤真治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．福祉行政について（精神障がい者への公共交通機関の運賃割引について）	1．精神障がい者の公共交通機関の運賃割引制度の実施について 2．国の関係機関に対して「精神障がい者の公共交通機関の運賃割引制度の実施を求める意見書」及び、萩市独自の支援策について		
2．商工・観光行政について（阿武川ダム湖のブラックバスの駆除と新たなまちおこし、萩まちじゅう観光パフォーマー・萩の志隊の存続について）	1．阿武川ダム湖のブラックバス駆除対策と新たなまちおこしについて 2．萩まちじゅう観光パフォーマー・萩の志隊の存続について		

質問順位	8	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 電気自動車のインフラ整備のための施策について	<p>環境に配慮したまちづくりを公表することにより観光客を増やし、雇用の機会を増やす一環として、電気自動車の利用拡大に備えて他市に先駆けてインフラを整備することが大切です。</p> <p>急速充電機は拠点に整備し、多くの場所には費用も安く料金回収も容易な充電器を設置することが現実的です。</p> <p>市内の業者が全国に先駆けて開発したその充電器を市内にいち早く設置するための補助策を実施していただくことが設置の促進には必要と思いますが、市長のお考えをお尋ねいたします。</p>		

質問順位	9	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1．子供たちを含めた市民が安心・安全に生活ができる環境づくりについて</p>	<p>1．県道萩川上線のバイパス工事について  県道萩川上線のバイパス工事は、平成8年に萩土木建築事務所が地元住民に対し説明を行ったと聞いています。  しかし、一部地権者の協力が得られず、本格的な工事の着工ができない状態にあります。現在この県道は、100人を超える児童・生徒が利用する通学路になっていますが、道幅が狭いため歩道のない部分も多く、さらに通学時間帯には車の通行量も多いため、大変に危険な状態が続いています。児童・生徒の保護者はもちろんのこと、地域住民からも危険性を訴える声や、早期に工事を行ってほしいという声を聞きます。  市長もこのような声を受け、直接地権者と話し合いを行うなど、工事着工に向け努力を行ってきておられます。しかし、結果的には、計画が持ち上がって15年余りがたちましたが、バイパス化は未だ実現していません。  子どもたちがこのように危険な状況で通学を続けている現状を市としてどのように考えているのか、またこの計画の現状と、今後の見通しについてお尋ねします。</p> <p>2．県道萩川上線の外灯について  県道萩川上線の中津江より川上方面は、民家のない場所が多くあります。  外灯も少なく夜間は大変暗く、危険な状態です。特に、冬場は日暮れが早く、夕方5時を過ぎると、真っ暗になります。そんな中を高校生たちは、自転車で通学しています。  萩市の大切な子供たちを事件・事故から未然に防ぐためにも、外灯の増設を行う必要があると考えますが、市として通学生徒の安全確保についてどのように考えるか、お尋ねします。</p>		
<p>2．少子化・人口減少問題対策について</p>	<p>萩市の人口は、この1年間で約1,000人減少しました。市長は、平成22年9月定例会で「人口減少・少子化問題に真剣に取り組む姿勢を示すためにも、平成23年度予算で、萩市独自の思い切った予算組をすることが必要では」との私の一般質問に対し、「毎年思い切ってやっております」と答弁されました。</p>		

	<p>確かに、萩市においては、人口減少に歯止めをかけるべく様々な施策をとってきました。しかしながら、結果的には人口減少の流れは、止まっていません。</p> <p>人口が減少するということは、地域力の衰退につながり、元気のなくなった地域からは、若者が出ていくという負の連鎖につながっていきます。そして厄介なことに、この問題は時間がたてばたつほど対策が難しくなっていきます。</p> <p>元気な萩市を創るためにも、この少子化・人口減少問題に対し新たな取り組みを行うべきだと思いますが、市長のご所見をお尋ねします。</p>

質問順位	10	質問者	柴田保央議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 林政について	1. 森林再生について		

質問順位	11	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 道路行政	1. 県道 萩津和野線、萩篠生線の整備促進について		
2. 救急医療	1. ドクターヘリ離着陸場の整備について		
3. 商工行政	1. 萩焼の中国展開について		
4. 生きがい対策	1. 生きがい探し (1) 団塊世代「大人の遊園地」について		
5. 商工・観光行政	1. 歴史的由来のある「蒸気まんじゅう」について (1) 守り、育てる (2) 名菓の開発 (3) 表彰制度		

質問順位	12	質問者	木村靖枝議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 施政の取り組みについて	1. 平成24年度の予算編成方針について		
2. 安心・安全なまちづくりについて	1. 歩行者・自転車の安全確保について 2. 安全な道づくりについて 3. 雑踏警備の充実を（一時期に集中する観光イベント等）		
3. 道の駅の特性を活かした今後の取り組みについて	1. 災害時の拠点施設として整備することについて		

質問順位	13	質問者	世良真名夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 教育問題について	1. 学校運営		
2. 障がい者への表彰について	1. おいでませ山口大会入賞者における表彰		
3. 一人暮らしの災害における避難について	1. 災害発生時における避難方法及び誘導等		

質問順位	14	質問者	松尾義人議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 「道の駅 さんさん三見」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. PR看板設置について</li> <li>2. 進入路案内看板の設置について</li> <li>3. 県道三見停車場線からの案内看板の設置について</li> <li>4. 水源確保について</li> <li>5. イベント時の残地使用について</li> </ul>		
2. 道路行政について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 主要県道萩三隅線の今後の整備方針について</li> <li>2. 主要県道萩三隅線の海岸沿いを観光資源として活用する考えはないか</li> <li>3. 市道・県道沿いのJR用地の草刈りについて</li> <li>4. 県道三見停車場・市道小原畦田線・三見インター入口交差点の安全対策について</li> </ul>		
3. 三見川の環境整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 河川内の立木等の伐採について</li> </ul>		

質問順位	15	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 長井雅楽の顕彰を論ず。	<p>昭和37年3月16日、長井雅楽顕彰会発起人代表萩市長菊屋嘉十郎、顧問毛利元道の名をもって、長井雅楽没後百年祭が挙行された。海潮寺にある雅楽氏墓前にて、墓前祭が行われ、海潮寺本堂において百年祭が挙行された。</p> <p>長井雅楽氏は幕末屈指の政治家であり、大局を洞察するの明識と難局に処して動ぜぬ硬骨を備え、蕚然として時流の中に卓立する人であった。</p> <p>再来年、2月6日は雅楽氏没後150年にあたるが、この英魂を慰め併せてその偉績を普く世人に知らしめ、世の風教に益せんとするお考えはないか承る。</p>		
2. 大河ドラマ清盛放映をどうかすかを論ず。	<p>龍馬ブームで萩市もおかげを蒙った。萩には、知盛ゆかりの地名もあり、落人伝説もある。音にきこえし源氏ゆかりの地もある。清盛放映に合わせて、萩をPRする努力をされていると思うが、秘策があれば承りたい。</p>		
3. 萩駅舎の活用を論ず。	<p>10月16日鉄道記念日を記念する催しが萩駅舎であった。市民コーラスグループのうたごえの皆さんが「汽車汽車シュッポシュッポ・・・」などを歌い、観光パフォーマーも参加してにぎやかに行われた。国体開催月には国鉄バスも萩駅にとまった。</p> <p>この駅舎を活用して萩観光に資する道はないのか承る。</p> <p>再来年は、井上勝生誕170年にあたる。萩駅舎は国の登録有形文化財である。切れた電球の取り替えもままならぬ現況ときくが、画期的な利用法はないか承る。</p>		

質問順位	16	質問者	広兼義烈議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1.平成24年度行財政に関して問う	<p>1.重点施策とそれに伴う主要事業について問う          予算編成作業が進められているなか、重点施策とそれに伴う主要事業は、ほぼ固まっていることが予想される。現時点での状況について問う。</p> <p>2.中山間地域に活力を与えるための施策の充実を図られたい。          市の人口減少が続くなか、人口減少に歯止めをかけるための施策。特に、若者定住のための働く場の提供、確保、出生率の向上は最大の課題である。          中山間地域の人口減少は著しく、地域の活力は急速に低下しつつある。自助努力では再生できない集落が増え続けている。6月定例会の一般質問に対して「地域に活力を生むような特色ある施策を講じていきます」という答弁を得ている。24年度には当然、施策に盛り込まれていると思う。骨子について説明いただきたい。</p> <p>3.地域の伝統・文化を尊重した行財政運営の一層の充実を図られたい。          それぞれの地域で、地域の特質、特徴を生かした行事がいろいろ行われている。それによって住民・地域の連帯意識が醸成され地域が維持されている。このことを重視した行財政運営を要望する。</p> <p>(1)須佐地区に例をとると男命いか即売に関して          今13年続いているなか、消費者の関心は年々高まっている。客のなかには、その場で賞味されるが、仮設テントの中でということ雨の時は、おもてなしとは言えない状態になる。常設の建屋が必要ということで関係者は努力している。市は積極的な支援をすべきである。</p> <p>(2)弥富地区では伊良尾火山が作り出した柱状節理の岸壁(高さ40数メートル、幅およそ200メートル)を地質学に止まらず観光に結びつけるための取り組みが始まっている。是非支援いただきたい。</p>		

	<p>4．環太平洋経済連携協定協議参加決定と農業振興について問う。</p> <p>協議参加が決まったことをどう受け止め、また今後どのように対処されるのか問う。</p> <p>この協定に参加すれば国の食料自給率もさることながら萩市は農業、畜産への依存度が高く、その影響は極めて大きく壊滅的な打撃を受ける。今後とも反対の立場を堅持していただきたい。</p> <p>市長は市の農業振興に強い意欲を示され一般質問に対して、いろいろ答弁されたが十分理解できない。市長が目指す萩市の農業振興とは一体どういう内容のものか改めて問う。</p> <p>5．固定資産（土地）評価について問う。</p> <p>（1）24年度は評価替えの年にあたるが評価額の変動はどの程度になるのか問う。</p> <p>（2）土地評価について旧市町村間の均衡は図られているかどうか問う。</p> <p>（3）土地の形状変更、用途変更、その他評価条件の変更に伴う評価は適切に行われているか問う。</p>

質問順位	17	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 須佐・田万川地域の医療について	1. 地域医療再生会議の中で、須佐・田万川地域の医療はどのような位置づけになっているか 2. 弥富診療所の入院病棟再開への課題解決にどのような努力がされているか		
2. 民間住宅リフォーム助成事業の拡充について	1. 民間住宅リフォーム助成事業の補正予算対応をどう考えるか 2. 来年度予算での予算増額と対象の拡大をどう考えるか		
3. 新清掃工場建設について	1. 生活環境影響調査と基本設計業務が同一の業者であることに問題はないか 2. 入札公告の予定価格の公正性はどのように確保されたか 3. 処理するゴミ量が予測より減少した場合の運営費負担軽減の契約は可能か		
4. TPP参加協議について	1. 環太平洋連携協定 TPP 交渉協議への参加に対する市長の見解をきく		

質問順位	18	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. 過疎を打開するには起業化支援助成制度の拡充（予算の拡充）が必要だ。</p>	<p>平成23年1月臨時会の補正予算において事業化された「萩市起業化支援助成制度」について、来年度の一般会計予算においても継続事業とし、かつその予算を拡大するお考えがないかお伺いしたい。</p> <p>同事業は萩市で事業を新たに開始する者に対して、その補助率を1/2以内とし、最大50万円を補助金として支給するものである。</p> <p>補助金であることから、融資と異なり、支給先に返済する必要もない。また企業会計においては、利益として計上できることから、創業時の経費を吸収できる効果がある。</p> <p>この事業には当初200万円を予算計上したが、本年7月末までに計5件の申込みがあり、今現在はその予算を消化した状態である。以前、本年度の予算審議の際に、予算消化時はその時点で補正予算で対応するとお伺いしていたが、その後、補正予算措置はされぬまま現在に至っている。予算消化後も本事業に対する相談が多数寄せられていることを勘案すれば、本事業に対する潜在的ニーズは極めて大きい。</p> <p>また人口減少が続く萩市の現状を勘案すれば、その原因は雇用が生まれにくいことに本質的に行き着く。企業誘致による雇用創出にも期待したいが、それは他力本願であり、まずは自らの仕事は自らで生み出すといった考え方が必要である。かつては、そんな気風がこの萩にもあったはずであり、また藤田伝三郎のように見習うべき偉人もいる。</p> <p>本事業が起業家の背中を押す効果があることは分かった。次は、制度の拡充により、立ち上がる人たちを一人でも多く増やすことである。</p> <p>目指すは企業城下町ではなく、起業城下町だ。</p>		
<p>2. 萩観光パフォーマー事業の継続は必要だが、これには地域住民のボランティア精神が必要だ。</p>	<p>今年度新たに事業化された萩観光パフォーマー事業（維新胎動の地「萩」演出事業）が好評である。毛利藩士、明治維新の志士に扮した男女が城下町や松陰神社をはじめとした市内の観光スポットを練り歩くさまは観光客の注目を集め、時間の経過とともに市民からも評価される事業となった。そして、この事業は違う側面で大変重要な意味をもっている。</p>		

	<p>ところで、本事業は山口県の緊急雇用創出事業としての一時的な事業であり、本年11月末をもって終了することから、その継続を求める声が多方面から出ている。</p> <p>観光客からの評判もよく、萩市のイメージアップにもつながることから本事業の継続は必要と考えるが、継続にあたってはその財源が問題だ。</p> <p>来年度の予算編成の時期でもあることから、敢えてこのタイミングでお伺いしたい。</p> <p>まず、事業継続の予定はあるのか？</p> <p>そして、事業継続を行うのであれば財源をどこに設けるのか？</p> <p>前述した通り、本年度におけるこの観光パフォーマー事業の財源は山口県の緊急雇用事業資金を活用したものであり、その予算額は11,707千円である。萩市の一般財源は充当されていない。しかし事業継続にあたり、一般財源を充当することになれば、市民の理解が必要である。</p> <p>ここで提案したい。</p> <p>その観光パフォーマーにボランティア精神に富んだ地域住民が参加できないかということである。</p> <p>むしろ、すべてボランティアで行うべきと考える。</p> <p>現在、萩市は世界遺産登録の推薦準備を進めている。</p> <p>仮に最終的に推薦を得たとして、ユネスコ世界遺産委員会が重視する項目の一つに、地域住民の理解があるという。その土壌をつくるためにも、地域住民参加型のボランティアこそがこの観光パフォーマー事業にはふさわしい。</p>